

## 「野鳥に心惹かれて」

吉島 珠希

私が野鳥に興味を持つようになったのはごく最近のことです。幼い頃から生き物が好きでしたが野鳥にはあまり関心はありませんでした。犬や猫と違って直接触れ合うということが難しいですし、間近で観察できる機会がほとんど無かったからだと思います。

大人になり山歩きやキャンプなどを楽しむ中で野鳥の声に気が付くようになりました。鳴き声は聴こえても簡単に鳥の姿は見つけられず、聴きたいと耳を澄まして鳴いてくれなかったり。それでも正体を知りたい、一目見てみたいと思うようになったのはやはり美しい声に惹かれたからでしょう。

探鳥会に参加するようになり鳥をこの目で確かめるようになるとその愛らしい姿にもどんどん魅了されていきました。

不思議なのですが、一人で野鳥を観察しに出掛けても探鳥会とは違ってなかなか鳥に出会えません。近くにいるのかもしれませんが見つけられずただの散歩になってしまうことも多々あり、鳴き声が聴こえてきても判別不明のままモヤモヤしてしまいます。たまにあの鳥は何?と尋ねられることがあります。自信を持って答えられるように聞き分けられる耳と識別できる目をはやく持ちたいものです。

また、自分が知らない野鳥を写真に収めることができた時に図鑑で鳥の名前を調べることがとても楽しいです。図鑑だけ見て鳥の名前を覚えようとしても難しいのですが、自分で写真を撮った鳥はすんなりと記憶されます。撮れたことが嬉しくて画像を何度も見るからでしょうか。カメラの腕前も未熟なので良い感じに撮れることは稀ですが、自分で撮った鳥はとても可愛らしく思えます。



エナガ

日々の生活において、いままでは気候や植物、旬の食べ物などから四季を感じていました。しかし野鳥に目を向けるようになってからは、渡りや巣作りなど違った観点からも季節の移り変わりを感じ

取ることができて日常に彩りが増しました。

これから知り得ることや新しい気づきがまだたくさんあると思うととても楽しみです。

### 新入会員のお知らせ

瀬谷吉郎さん、多田朱里さん、多田奈穂さんが鳥仲間となりました。よろしくお祈りします。

会員数141名 (2024年7月末日現在)

皆さんで参加して講演会を成功させましょう!

郷土の誇りを世界へ

# 猪苗代湖のラムサール条約登録を目指す

ラムサール条約とは

正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、①保全・再生、②賢明な利用、③「交流学習」の3つを目的としています。国内では53カ所、福島県内では尾瀬が登録されています。そして今、猪苗代湖を有する福島県、郡山市、会津若松市、猪苗代町が協力し、この条約に猪苗代湖を登録しようと動いています。

入場無料

**講演会開催**

2024年 **10月19日** 土

■午後1時30分～ ■猪苗代町体験交流館「学びのな」大ホール

講演 1	奥地 正行 (日本野鳥を保護する会会長)
講演 2	中村 玄正 (輝く猪苗代湖をつくる県民会議名誉顧問)
講演 3	黒沢 高秀 (福島大学野生シロアリ研究センター教授)

主催 福島県日本野鳥の会連携団体連合会・特元非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議  
後援 福島県・郡山市・会津若松市・猪苗代町・福島民報社・福島民友新聞社  
協力 公益財団法人 郡山市観光交流振興公社

お問い合わせ先 郡山市野鳥の森学習館 〒963-8862 郡山市東原4丁目18-6  
TEL: FAX 024-934-2180 E-mail kakko3@hs-net21.lne.jp

## 支部日誌

- 2024年5月18日(土)～19日(日)の一泊二日で第27回福島県日本野鳥の会連携団体連合会総会が、相馬松川浦、晴風荘で開催され、郡山支部からは14名が参加した。
- 2024年6月29日(土) 13:30～郡山支部運営委員会が行われ、令和6年度カワウ生息状況調査委託契約、ラムサール条約登録に向けての活動状況報告の後、今後の支部事業について協議した。
- 2024年7月21日(日) 10:00～郡山支部運営委員会が行われ、ラムサール条約登録に向けた講演会の開催についての役割分担、スケジュール管理について協議した。